2024 年 9 月 20 日　マイコプラズマ肺炎について

こんにちは、もりもりキッズ・アレルギークリニックです。

　今回はマイコプラズマ肺炎についてです。
　マイコプラズマはウイルスと細菌の間の性質と大きさを持つ菌が原因でおこる病気です。咳嗽・くしゃみの飛沫、手すり・ドアノブなどからの接触感染でうつります。小児では学童期に多く 1 年を通してかかります。感染した 10 人に 1 人が肺炎になると言われています。
　潜伏期間は 2～3 週間で初期症状は熱や咳など風邪と似ています。熱は個人差があり数日から 1 週間以上続く事もあります。また、解熱後も激しい咳がみられ数週間に及ぶ場合もあります。

☝マイコプラズマの多くは自然に回復していく感染症です。

　必要に応じて抗生物質を内服しますが、慌てて診断したり治療を要する事はありません。受診の目安は 3 日以上続く熱や解熱しても咳がつらい場合です。
　マイコプラズマは免疫がつかないため、数年経つと再びかかる事があります。普段から手洗い、うがい、咳エチケットをい行い感染予防をしましょう。